

初任者研修で体験された方の感想

高齢者疑似体験

車いす体験

障がい者への理解

実際に高齢者の方や目、耳の不自由な方に近い体験をすることで、想像以上に日常生活を送りにくいことを実感した。

高齢者の方については、動くだけでも大変であり、五感もかなり鈍くなることを学びました。

車椅子も腕の力が必要で、少しの段差にも苦勞することを学びました。

盲ろう者の方が日常生活のなかで、とても苦勞されていることを知りました。

高齢者の方や車椅子、障害がある方が困っていたら、お手伝いできることはないか積極的に声掛けし、少しでもお手伝いができればいいなと思います。

高齢者疑似体験では、視界の狭さや関節の動かしづらさ、歩行の不安定さなどを実際に体験し、日常生活の中で感じる不安や困難さを実感することができました。普段何気なく行っている動作が大きな負担となることに気づき、周囲のサポートの重要性を強く感じました。

車いす体験では、段差やわずかな傾斜でも移動が困難であることや、周囲の環境がいかにより重要であるかを学びました。また、介助する側としても、相手の立場に立った配慮や声かけが必要であることを実感した。

盲ろう者への理解についての講義を通じて、外見からは分かりにくい困難を抱えている方も多く、一人ひとりに応じた対応が求められることを学んだ。思い込みや先入観を持たず、相手を尊重する姿勢の大切さを改めて認識した。



小学生から体験の感想が届きました



今日は見学体験をさせていただきありがとうございました。ぼくたちは3つの体験をしました。2つの感想を言います。1つ目は視覚障害者体験のことです。これは見えただけで色などはあまり分かりませんでした。エレベーターでは、ぼくはボタンを押して見れなかったけど、みんなは鏡が白くて見えないとかボタンの位置がわかりづらいなど言っていて、わかりづらそうでした。2つ目は車イス体験のことです。おしてくれていたら、案外だけど、自分でこいだらたいへんでした。ぼくは障害者の思いが分かりました。



今日は福祉センターの見学に行かせていただきありがとうございました。高齢者体験では、体が思うように動きませんでした。車イス体験は、思ったより重くて力がむづいようであどろきました。視覚障害者体験では、目が見えづらくトイレに入るだけでもひとくらくでした。すべてたいへんだったのでくらしの中で目が見えづらい人たちの苦勞は大きいと思いました。僕は昔車イスにのりたいと思いましたが今日体験してみて思い通りに移動することは大変にむずかしいことがよく分かりました。



今日は福祉センターを見学体験させていただきありがとうございました。車イスの人の過ごし方や、お年よりの人の聞こえ方や見え方、目が不自由な人の視点など、ふたつ感じられなりました。体験をさせていただきました。特に印象に残っている体験は、お年よりの人の立ち場になっておもりをつけたり、サポーターをつけたり、手ぶくろを付けたらじょうたいで色ぬりをした高齢者体験です。高齢者体験はお年よりの人の立ち場になって体験したため、お年よりの人の気持ちがよく分かりました。

